

冬期テキスト

必修編

社会

中学 2 年



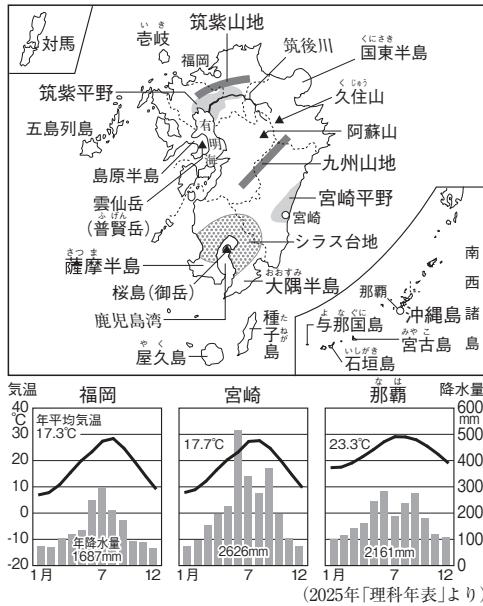
第1講座

九州地方

1 九州地方の自然環境

- (1) 地形…対馬、南西諸島など多くの島々。東シナ海に大陸棚。
- ① 山地・火山…北部に筑紫山地、中央部に九州山地。**阿蘇山**には巨大なカルデラ。**桜島**(御岳)、雲仙岳など、多くの火山。九州南部は火山の噴出物が積もったシラス台地が広がる。
 - ② 河川・平野…筑紫平野を流れる筑後川が有明海にそそぐ。
- (2) 気候…暖流の黒潮(日本海流)と対馬海流の影響で冬でも比較的温暖。南西諸島は冬も海水が温かくサンゴ礁が発達。**梅雨**の時期や台風が通る時期に集中豪雨が見られ、降水量が多い。

▼九州地方の地形と各地の気温と降水量



2 九州地方の産業

- (1) 農業…気候や地形にあった農業。南北で違いが見られる。
- ① 北部…筑紫平野で稲作。近年はビニールハウスを利用した野菜栽培→いちご、トマト。筑紫平野では米の収穫後に小麦や野菜を栽培する二毛作を行う。
 - ② 南部…宮崎平野では温暖な気候を利用した野菜の促成栽培。夏野菜のきゅうり・ピーマンを促成栽培し、価格の高い冬に出荷。シラス台地ではさつまいも、茶の生産や畜産。近年は肉のブランド化。
- (2) 工業…かつては金属工業、現在は機械工業を中心。
- ① **北九州工業地帯(工業地域)**…筑豊炭田があり鉄鉱石を輸入する中国に近かったため、20世紀初めから官営の八幡製鉄所を中心に鉄鋼業が発展。戦後、他の地域の鉄鋼業の発展などにより、地位が低下。
 - ② 九州地方の工業の変化…現在では機械工業を中心。北部では自動車、高速道路や空港の近くには集積回路(IC)の工場。

(3) 環境問題

- ① 福岡県北九州市…1960年代に大気汚染や海洋汚染などの公害が深刻化。企業と自治体による環境改善で現在はエコタウンを形成。
- ② 熊本県水俣市…かつて四大公害病の**水俣病**が発生。現在は公害の経験からごみの分別などが進み、環境モデル都市に選定。
- (4) 火山を利用した産業…温泉が多く、多くの観光客。地熱発電。
- (5) 大陸との結びつき…観光や貿易などで大陸との結びつきが強い。

3 沖縄の歴史と産業

- (1) 歴史…かつては琉球王国という独立国。明治時代に日本に編入。第二次世界大戦で大きな被害を受け、戦後はアメリカ軍による統治。日本に返還後もアメリカ軍の施設が多く置かれる。
- (2) 自然環境を生かした産業…さとうきびやパイナップルの栽培、菊の電照栽培。サンゴ礁や独自の文化を生かした観光業。第3次産業就業者の割合が全国平均よりも高い。

▼肉牛、豚、肉用若鶏の県別飼育数割合

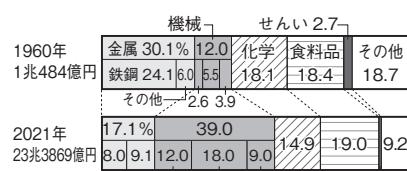
肉牛		計267万頭		
熊本 5.0		—長崎 3.5		
北海道	20.9%	鹿児島	13.6	宮崎 9.7
鹿児島	13.6%	宮崎	8.5	その他 6.6
その他	47.3	群馬		

豚		計880万頭		
北海道		—群馬		
鹿児島	13.6%	宮崎	8.2	その他 6.6
鹿児島	13.6%	宮崎	6.9	千葉 6.6
その他	56.2	その他		

肉用若鶏		計1.4億羽		
(プロイラー)		—青森 5.3		
鹿児島	22.1%	宮崎	19.4	岩手 16.3
鹿児島	22.1%	宮崎	12.0	その他 33.1
その他	33.1	その他		

(2024年) (2025年版「データでみる県勢」より)

▼九州地方の工業出荷額の内訳



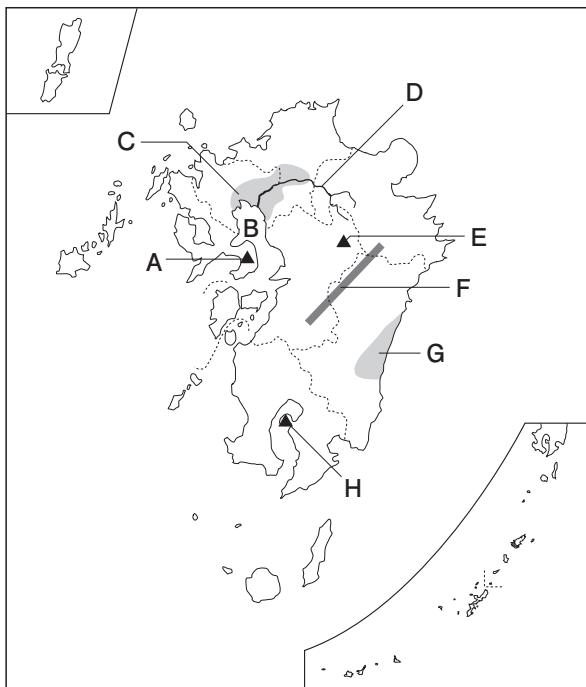
▼沖縄島の土地利用



確認問題

1 A～Hにあてはまる語句を答えなさい。

▼九州地方の地形



- | | |
|---------|----|
| A _____ | 岳 |
| B _____ | 海 |
| C _____ | 平野 |
| D _____ | 川 |
| E _____ | 山 |
| F _____ | 山地 |
| G _____ | 平野 |
| H _____ | |

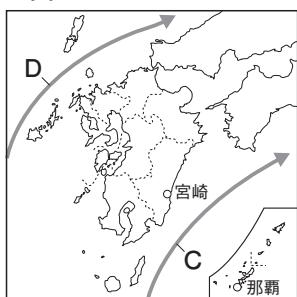
2 次の問いに答えなさい。

- (1) 阿蘇山に見られる、火山の爆発などによってできた大きなくぼ地を何 (1)_____というか。
- (2) 九州地方南部に広がる、古い火山の噴出物が積もってできた水もちの (2)_____悪い台地を何というか。
- (3) 温暖な宮崎平野で盛んな、きゅうりやピーマンなどの農作物の成長を (3)_____早めて出荷時期をずらす栽培方法を何というか。
- (4) 宮崎県や鹿児島県で盛んな、肉牛や豚、鶏の飼育を行い肉などを生産 (4)_____する農業を何というか。
- (5) 福岡県北九州市を中心に発達している工業地帯（工業地域）を何とい (5)_____うか。
- (6) (5)の工業地帯（工業地域）の発展のきっかけとなった、明治時代に操 (6)_____業を開始した官営の製鉄所を何というか。
- (7) 四大公害病のうち、熊本県や鹿児島県の八代海沿岸で発生したもの (7)_____を何というか。
- (8) 火山の地下にある高温の熱水や蒸気を利用した発電方法を何というか。(8)_____発電
- (9) 現在の沖縄県を中心につけて栄えていた王国を何というか。 (9)_____
- (10) 沖縄県の各地の海岸で見られ、貴重な観光資源となっている石灰質の (10)_____地形を何というか。

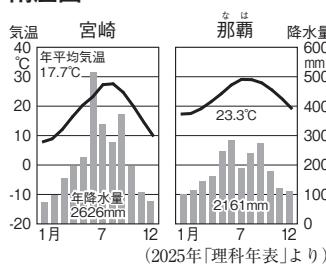
図表問題

1 次の地図と雨温図を参考に、文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

地図



雨温図



雨温図から、宮崎は□Aの気候、那覇は□B

の気候に属していることが読み取れる。また、□Cと□Dの2つの海流の影響で、温暖な気候となっている。

A[] B[]
C[] D[]

2 次のグラフの□にあてはまる家畜を、あとからそれぞれ選びなさい。また、文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

グラフ 主な家畜の県別飼育数割合

A	北海道 20.9%	鹿児島 13.6%	宮崎 9.7%	その他 47.3%
B	熊本 5.0	群馬	長崎 3.5	
C	鹿児島 13.6%	宮崎 8.5	8.2 6.9 6.6	その他 56.2
	千葉	青森 5.3	北海道 3.8	

(2024年) (2025年版「データでみる県勢」より)

ア 豚 ブ イ 肉牛 ウ 乳牛 エ 工業用若鶏（ブロイラー）

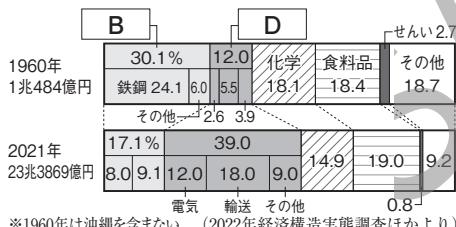
家畜を飼育し、肉などを生産する

□Dは九州南部の□E台地が広がる地域で盛んである。近年は外国産の安い輸入肉に対抗するために□F化を進めている。

A[] B[] C[] D[] E[] F[]

3 次のグラフと文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

グラフ 九州地方の工業出荷額の内訳

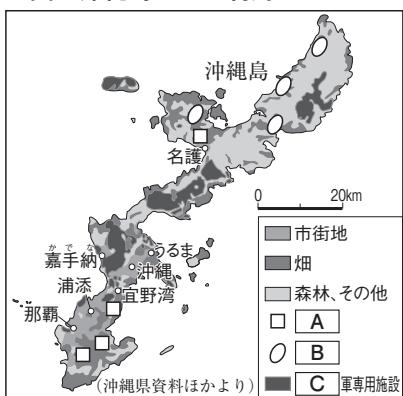


かつては官営の□Aがあった影響で□B工業の割合が最も高かったが、近年はコンピュータや通信機器などに利用される□Cや、自動車の組み立て工場が進出したため、□D工業の割合が最も高い。

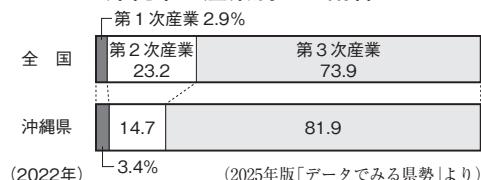
A[] B[] C[] D[]

4 次の地図とグラフを参考に、文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

地図 沖縄島の土地利用



グラフ 沖縄県の産業別人口割合



A[] B[] C[] D[] E[]

さとうの原料となる□Aの生産は約6割、果物の□Bはほぼ100%を沖縄県が占めている。また、□C軍専用施設が多く、その負担の軽減が課題となっている。

美しい自然や独自の文化を生かした□Dが盛んであるため、グラフのように産業別人口では□Eの割合が高い。

演習問題

1 右の地図とグラフを見て、次の問い合わせに答えなさい。

(1) Aの島の名称を答えなさい。

[]

(2) Bは、九州地方の地方中枢都市の位置を示している。この都市名を答えなさい。

[]

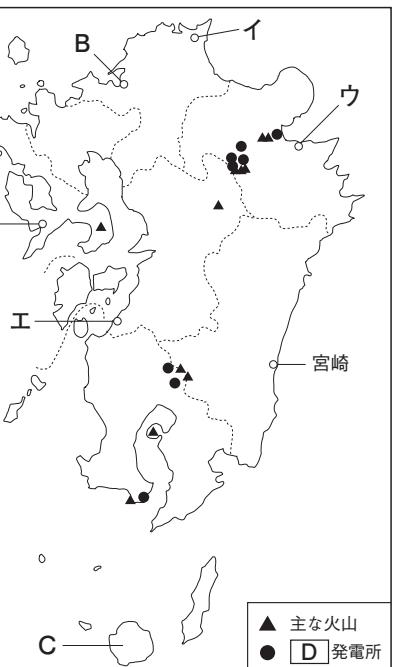
(3) Cは、樹齢1000年を超える杉の原生林や、豊かで美しい自然が残っていることで1993年に世界遺産に登録された島である。この島の名称を答えなさい。

[]

(4) ●は、□D発電所の分布を示している。□Dにあてはまる語句を、次から1つ選びなさい。[]

- ア 火力 イ 水力
ウ 地熱 エ 太陽光

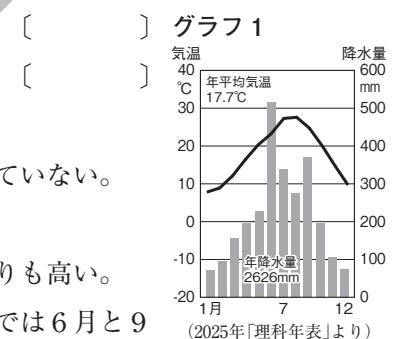
(5) かつて四大公害病の1つである水俣病が発生した水俣市の位置を、地図中のア～エから1つ選びなさい。



(6) 沖縄県の説明として誤っているものを、次から1つ選びなさい。

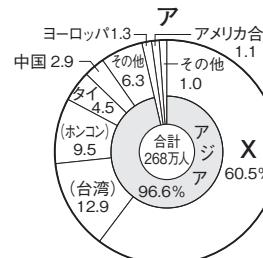
- ア かつては琉球王国という独立国で、独自の文化が発達した。
イ 第二次世界大戦後にアメリカに占領され、現在も日本に返還されていない。
ウ さとうきびやパイナップルの栽培が盛んである。
エ 観光業が盛んであるため、第3次産業就業者の割合が全国平均よりも高い。

(7) グラフ1は、地図中の宮崎市の気温と降水量を示している。宮崎市では6月と9月の降水量がとくに多く、集中豪雨による被害が起こることもあるが、それぞれの時期に雨をもたらす現象の名称を答えなさい。6月[]
9月[]



(8) グラフ2のア、イは、福岡空港と成田国際空港のいずれかを利用する訪日外国人の割合を示している。このうち、福岡空港にあてはまるものを選びなさい。また、グラフ2中のXにあてはまる国名を答えなさい。

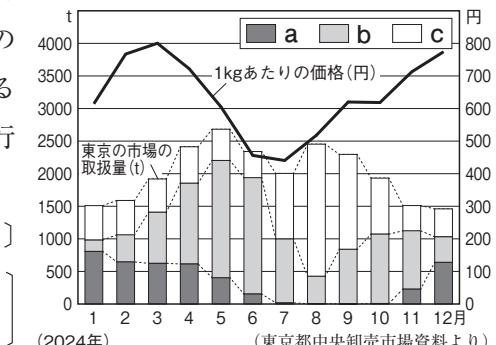
グラフ2



(2023年)
記号[] 国名[]

(9) グラフ3は、東京へ出荷されるピーマンの量と価格を示しており、グラフ3中のa～cは、宮崎県産、茨城県産、その他の産地のいずれかの量である。このうち、宮崎県産にあてはまるものを1つ選びなさい。また、選んだ理由を、宮崎県で主に行われている栽培方法を明らかにして簡単に説明しなさい。

グラフ3



理由[]

弊社サンプルをご覧いただき、
ありがとうございました。



紙面サンプルは ここまでです！

Bunri Teachers' Site へのご登録で、
全ページ見本^{*}と目次をご覧いただけます。

※一部教材を除く

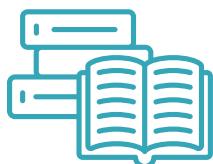
会員登録はこちら



Bunri Teachers' Site とは？

株式会社文理が運営する、塾・学校の先生方のための情報サイトです。

文理の教材紹介



デジタルサービスや
テストのお申込み



教育情報の発信



オンラインセミナー
のお知らせ

